



Olympus
Pen

FTT

F1.8標準付：定価 ¥33,700 / 現金正価 ¥32,000 / ケース ¥1,900

F1.4標準付：定価 ¥39,900 / 現金正価 ¥37,900 / ケース ¥1,900

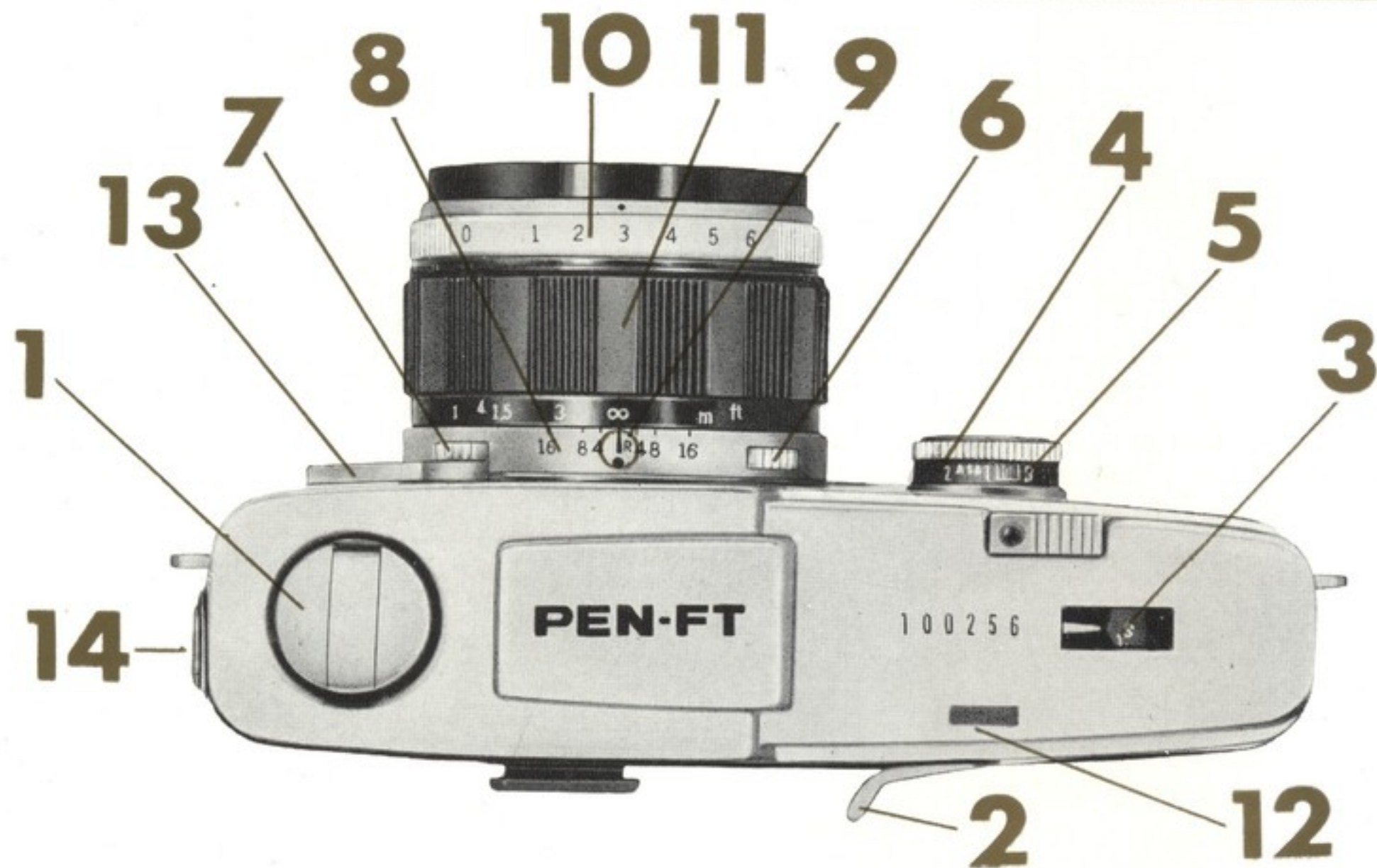
F1.2標準付：定価 ¥48,400 / 現金正価 ¥46,000 / ケース ¥1,900

ボディのみ：定価 ¥23,400 / 現金正価 ¥22,200 / ケース ¥1,900

お買上げありがとうございます。

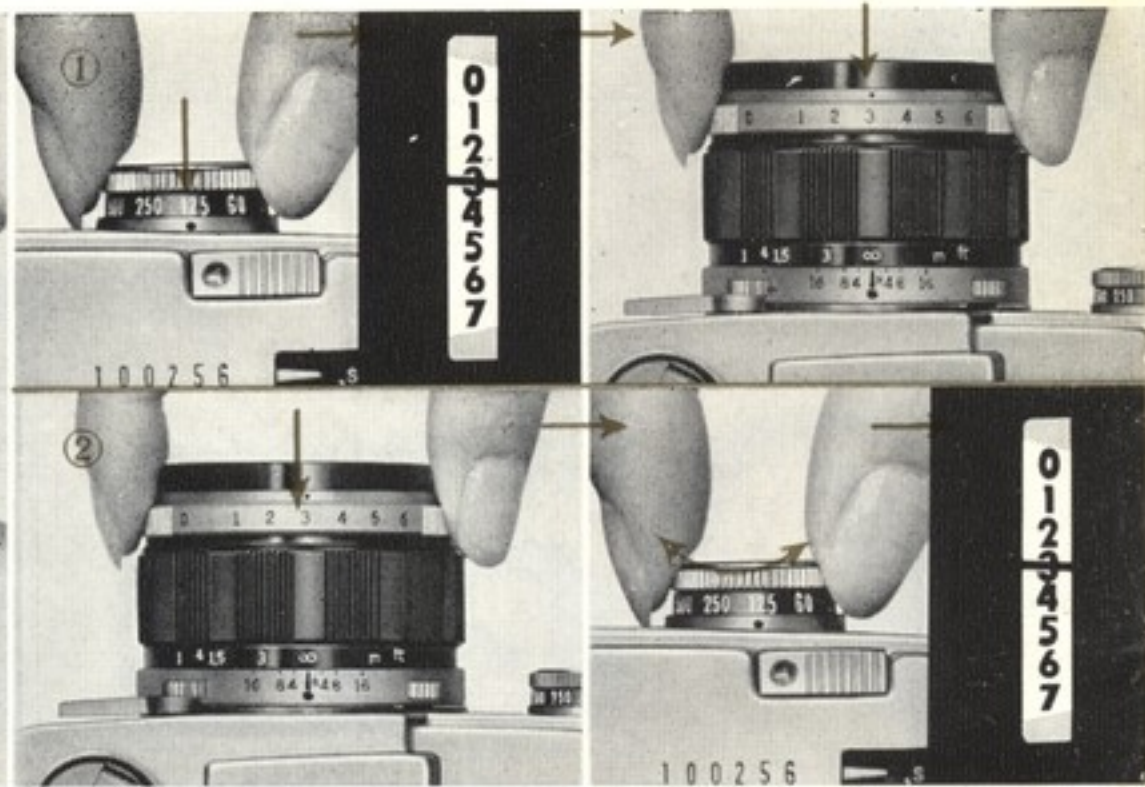
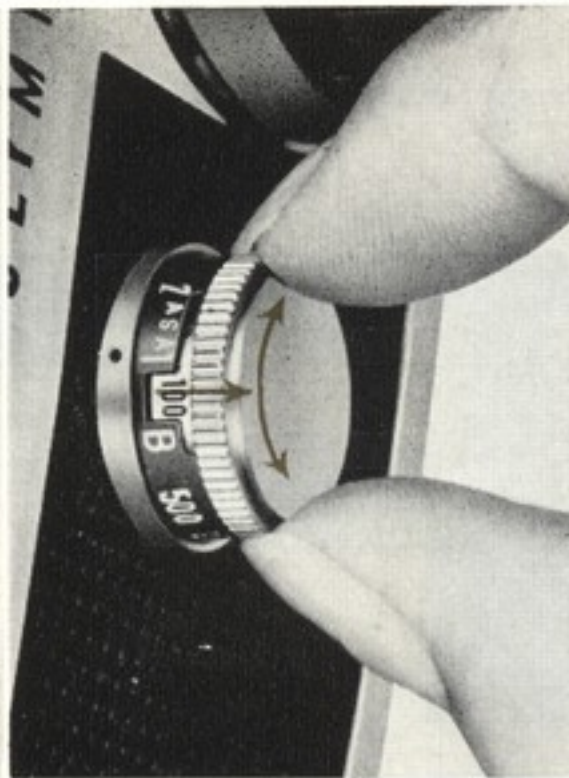
このオリンパスペンFTは、最も進歩したTTLシステムを採用した世界唯一のペンサイズ一眼レフです。現代高級カメラとしての必要条件はすべて揃え、しかもペンFTだけの高性能を発揮します。傑作を写すには、まずカメラを知ることが先決、撮影に入る前にこの説明書をよく読み、早く自分のものにして下さい。

このページは開いたままお読みください



● 各部の扱いかたをご説明します。引出線の番号順にお読み下さい。

撮影はかんたんです



1 フィルムを入れます。
(15頁参照)

2 フィルム感度をセッ
トします。(10頁参
照)

3 露出を決めます。(18頁参照)
① シャッタースピードを先に決める場合。
② TTL ナンバーを先に決める場合



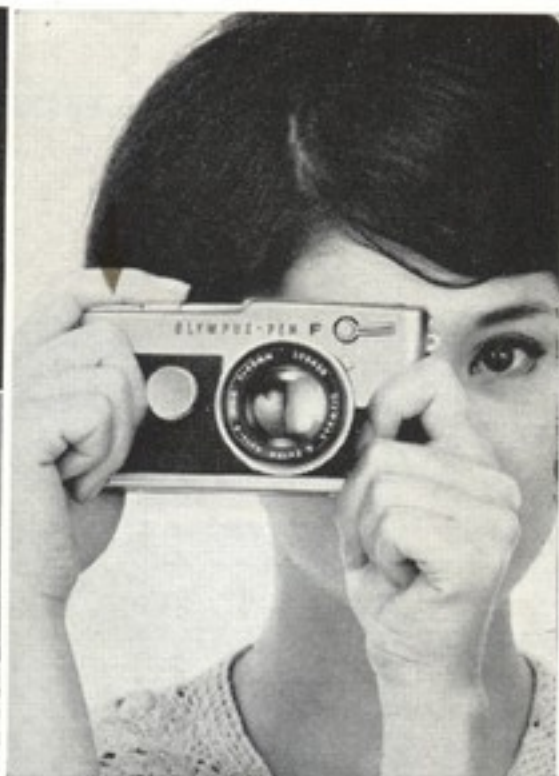
4 フィルムを巻上げます。(9頁参照)



5 カメラをしっかり構えて、構図を決めます。(20頁参照)



6 ピントを合わせます。(14頁参照)



7 レリーズボタンを静かに押します。

各部の名称



巻上レバー

シンクロソケット
ファインダー接眼
(M・X接点切替レバー)フィルム
巻戻し軸

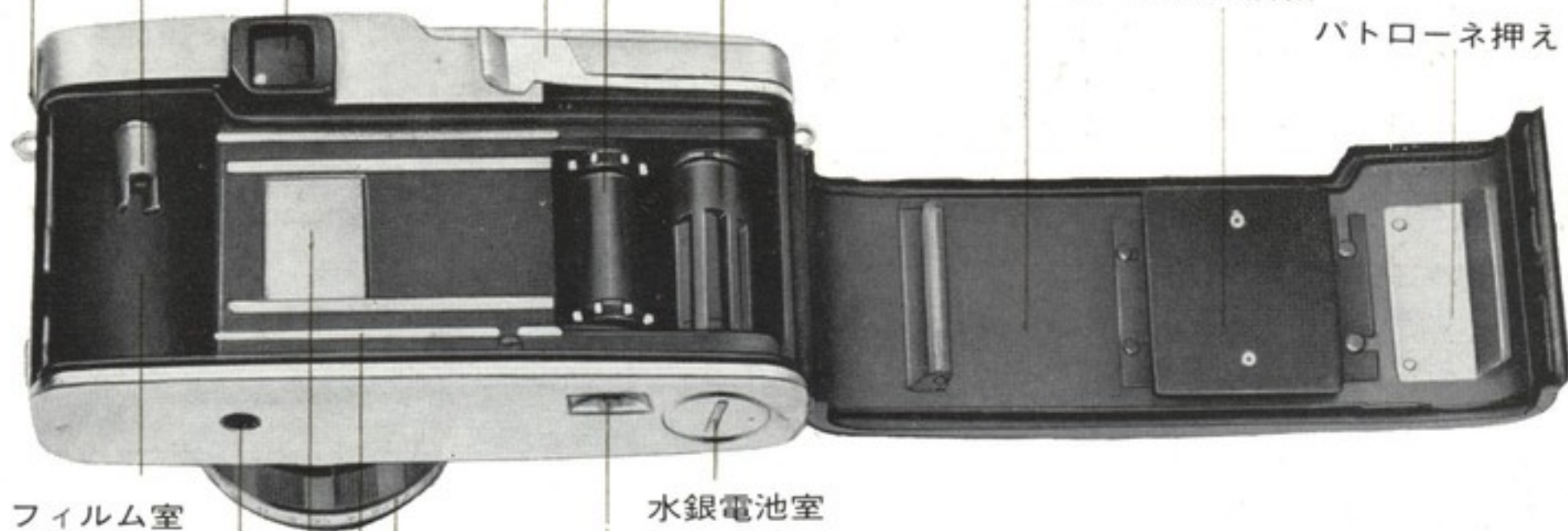
スプロケット

巻取りスプール

裏蓋

フィルム圧着板

バトロローネ押え



フィルム室

三脚穴

水銀電池室

フィルム巻戻しボタン

絞り環(Fナンバー)

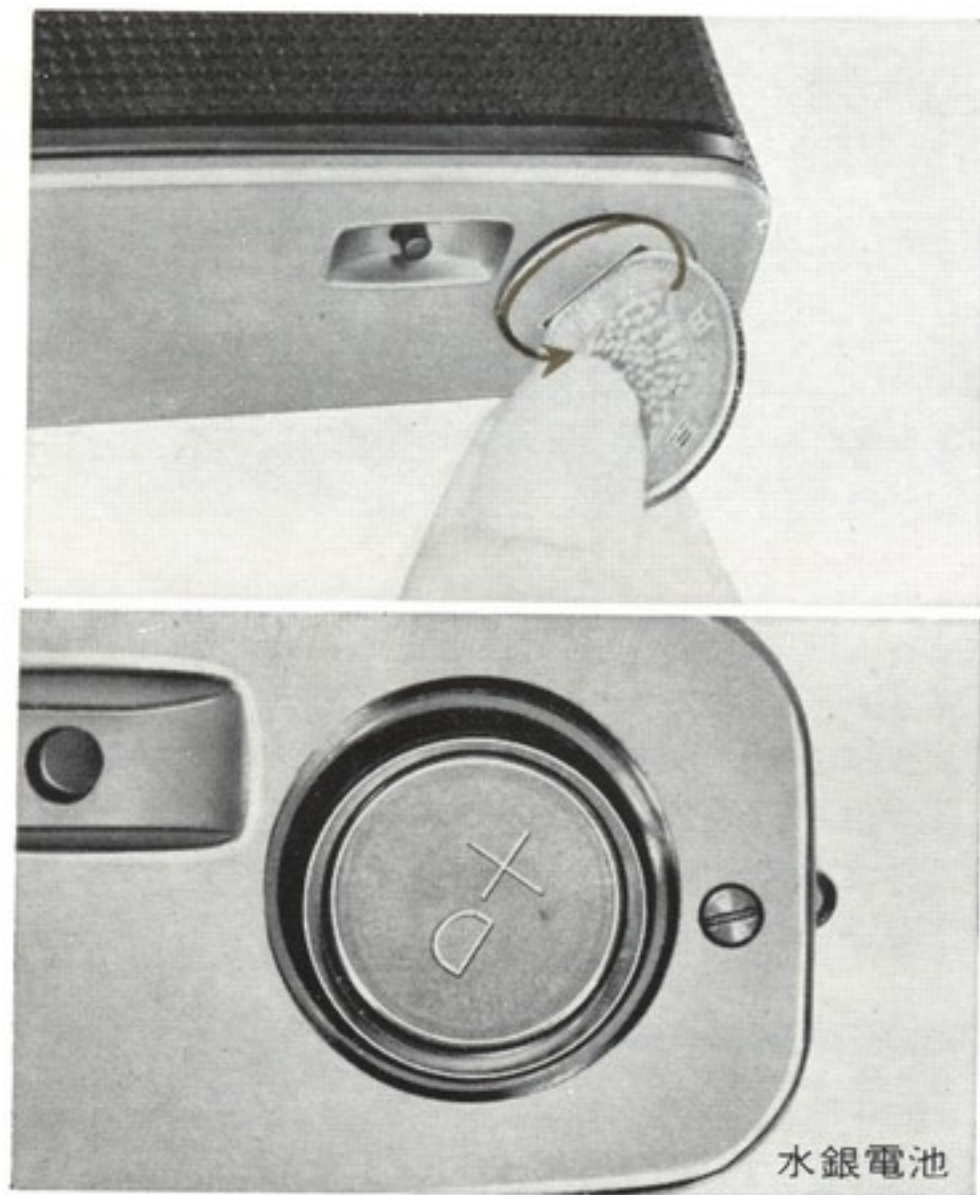
フィルムガイドレール

シャッター幕

おもな性能

FT

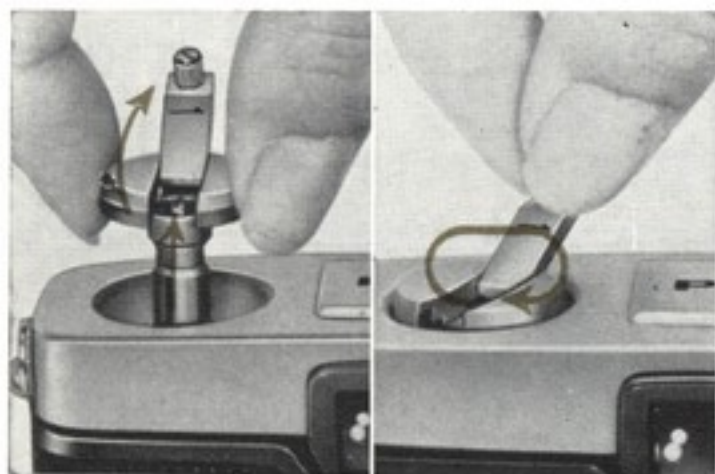
画面サイズ	レ	ン	ズ	交	換	／	24×18 mm (ペンサイズ)						
レンズ						／	(F 1.2 標準付) H ズイコーオート S F 1.2 f=42 mm	完全自動絞り					
						／	(F 1.4 標準付) G ズイコーオート S F 1.4 t=40 mm	完全自動絞り					
						／	(F 1.8 標準付) F ズイコーオート S F 1.8 f=38 mm	完全自動絞り					
							TTL ナンバー / F ナンバー表示付						
レンズ交換						／	バヨネット式ペンマウント						
シャッター						／	オリンパス・ロータリー・メタル・フォーカルプレーン・シャッター						
							B, 1 ~ 1/500 秒等間隔目盛, 1 軸不回転ダイヤル						
シンクロ						／	完全フルシンクロ, M/X 接点切換付						
ファインダー						／	ポロプリズムファインダー 0.8 倍 (標準付), マイクロプリズムおよび特殊フレネルレンズ付, 5 倍ルーペ使用						
ミラー						／	横開きショックレス・クイックリターン・ミラー						
フィルム装填						／	EL システム (イージー・ローディング)						
フィルム巻上						／	レバー式 1 ストローク巻上, 巻上角 150° (余裕角 13°), セルフコッキング, 二重巻上防止, 二重露出防止						
フィルム駒数計						／	順算式, 自動復元						
フィルム巻戻し						／	クランク式, 巻戻しボタンセット式						
ピント調節						／	直進ヘリコイド方式, 至近接距離 35 cm						
露出調節						／	TTL ナンバーシステム, 開放 / 絞り込み両測光方式						
測光範囲						／	F 1.4 標準付で EV3~EV17 (ASA 100)						
受光部						／	特殊大型 CdS 使用, 平均光量測定式						
電源						／	水銀電池 (1.3 V) 使用						
フィルム感度目盛						／	ASA 25 ~ 400						
セルフタイマー						／	レバー式 (90°), 約 11 秒						
裏蓋開閉						／	蝶番式, マジックロック						
大きさ・重量						／	(F 1.2 標準付) 127 (巾) × 69.5 (高) × 77.5 (厚) mm, 720 gr.						
						／	(F 1.4 標準付) 127 (巾) × 69.5 (高) × 68.5 (厚) mm, 630 gr.						
						／	(F 1.8 標準付) 127 (巾) × 69.5 (高) × 62.5 (厚) mm, 600 gr.						



まず水銀電池 (1.3 V) を、カメラ底部の水銀電池室に正しく入れて下さい。TTL 露出計 (17頁参照) の電源になります。

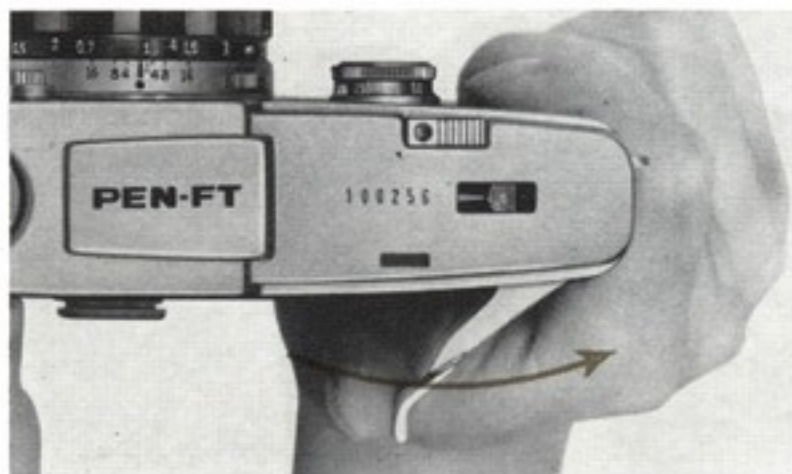
1. 水銀電池室の蓋に刻まれた溝にコインをあてがい左に回して外します。
 2. 水銀電池を、写真のように (+) 文字の書いてある方が外側になるように入れて、蓋を元通りにしっかりねじ込んで下さい。
- 撮影しないときは、ケースの前蓋をかぶせるか、レンズキャップを付けて下さい。水銀電池が長持ちします。
 - 水銀電池は、寿命が切れると、性能が一時に落ち TTL メーターが働かなくなるので、すぐわかります。1年位使用したら、交換するように心掛けて下さい。
 - 水銀電池を交換する場合は、H-D 1-3 V (ナショナル M-1D, 東芝 TH-MC など) を使って下さい。

1 裏蓋をあけます



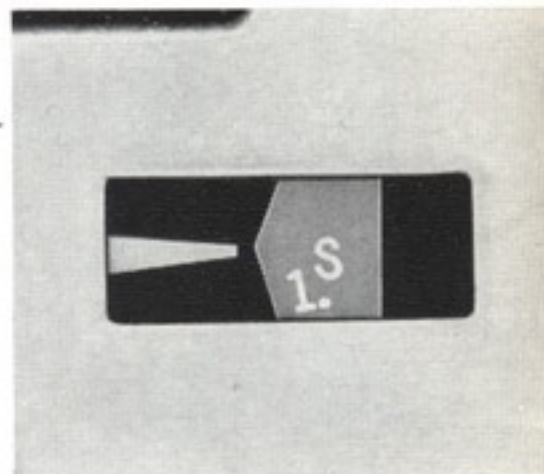
- フィルム巻戻しクランクを起し、ノブを引上げると、一度止まります。ここで更に強く引上げて下さい。裏蓋が自然にひらきます。閉じるときは、裏蓋を押してパチンと閉じて下さい。
- フィルムを巻戻す場合(21頁参照)や、フィルムのタルミをとる場合(16頁参照)には、巻戻しクランクを矢印の方向に回します。

2 巻上レバーを操作します



1. フィルム巻上レバーを少し引出して親指を掛けます。
 2. ここから巻上レバーが止まるまで回します。
 3. レリーズボタンを静かに押します。シャッターが切れて再び巻上ができます。
- 巻上レバーの操作は次のようなたくさんの仕事をしています。
①フィルムが1駒分巻上げられ、②フィルム駒数計が1駒分進み、③シャッターがセットされ、④ミラーが作動開始状態になり、⑤自動絞り機構が準備され、⑥二重巻上や二重露出が防止されます。

3 フィルム駒数計



フィルム駒数計は、S(スタート)から72までの数字が、S・1・4・8・12・16……と4つとびに刻まれています。巻上レバーを巻上げると、1駒分づつ動きます。ダイダイ色の矢印の先にあたる数字が撮影枚数です。裏蓋をあけると、フィルム駒数計は自動的にSに戻ります。

4 シャッターダイヤル

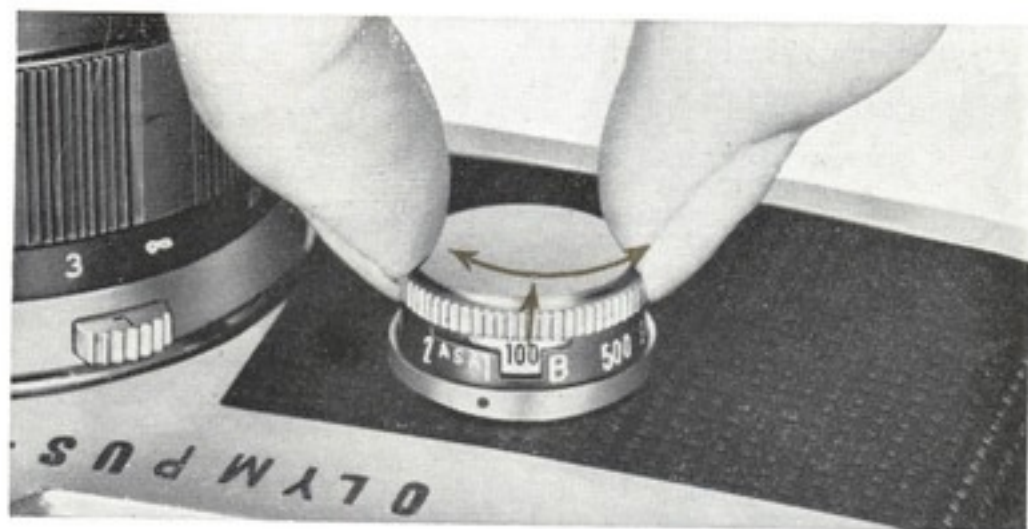


シャッターダイヤルには、B、1、2、4、8、15……500と数字が刻まれています。Bはバルブ露出のことで、レリーズボタンを押しているあいだ中、シャッターの羽根が開き、放すと閉じます。1秒以上の長い露出の場合に使います。1は1秒、2は $\frac{1}{2}$ 秒、500は $\frac{1}{500}$ 秒のシャッタースピードを表わしています。必要なシャッタースピードを上部の赤点に合わせて使用して下さい。

- シャッタースピードは、必ず赤点でカチリと止まった状態でお使い下さい。数字と数字の間スピードはありません。またBと500の間は移動しません。
- シャッタースピードの調節は、フィルム巻上の前後いずれでも結構です。

5 フィルム感度セット窓

FT



シャッターダイヤルのBと1の間にある小窓が、フィルム感度セット窓です。シャッターダイヤルのリングを引出して回し、この小窓の中央に、使用するフィルムの感度(ASA)ができるように、セットして下さい。

フィルム感度(ASA) 目盛

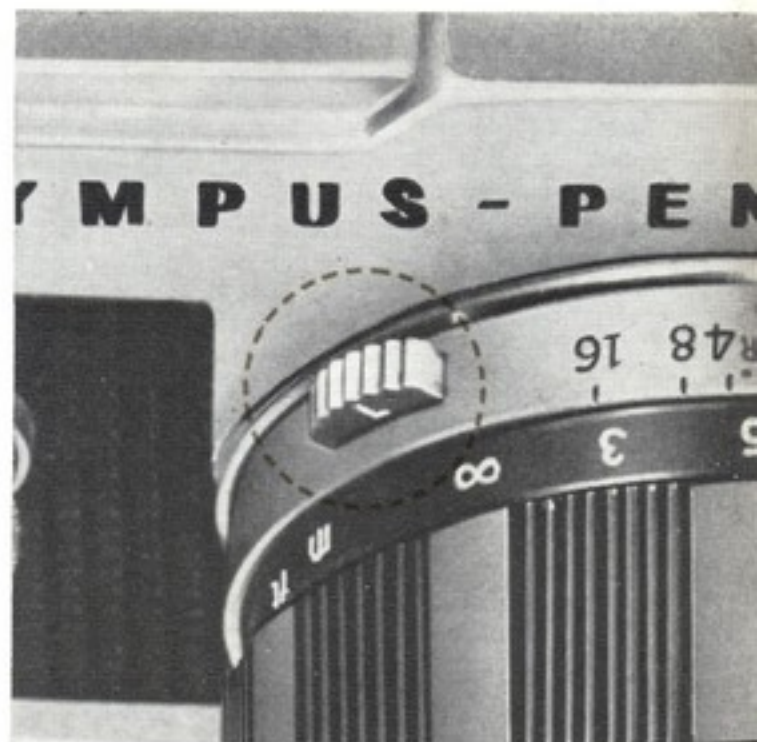
25 (32) (40) 50 (64) (80) 100 (125) (160) 200
(250) (320) 400

6 レンズ着脱ボタン(レンズを交換します)

ペンFTのレンズ交換は、バヨネット式になっています。レンズのマウント環の左右対称にボタンがあり、向って左側の赤いL(ロック)の字が入った方がレンズ着脱ボタンです。

左手にカメラを持ち、右手の親指でこの着脱ボタンを押しながらマウント環をしっかりと持って時計方向に回します。止まるところまで回すとレンズが取外せます。

取付ける場合は、レンズの▲赤指標とボディの赤丸を合わせ、レンズを平らに落とし込んでから、マウント環を持って反時計方向に回します。着脱ボタンは一度引っ込んでからパチリと元に戻ります。それで完全にレンズが取付けられたわけです。



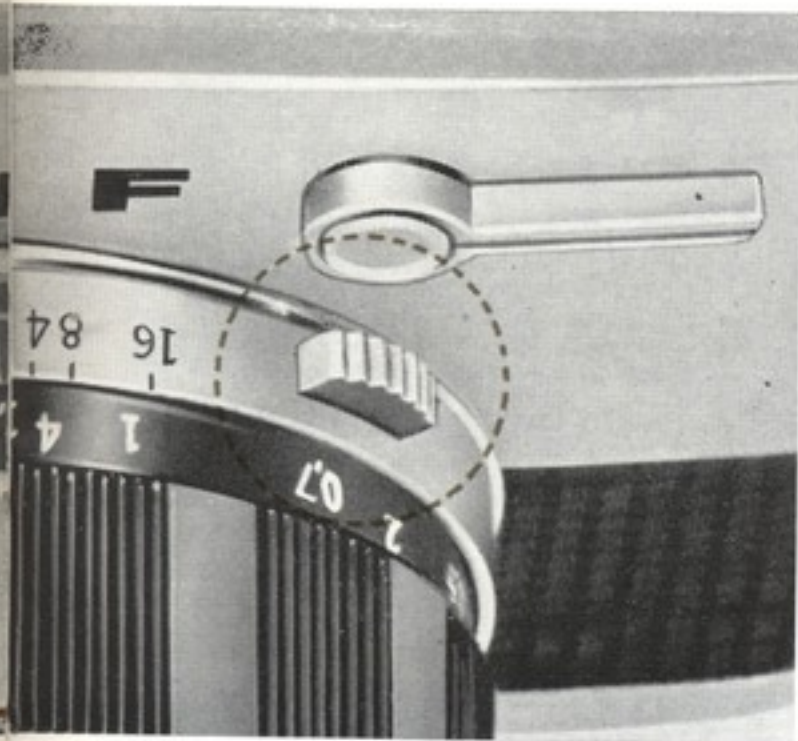
● 取外し



● 取付け



7 プレビューボタン(絞り効果をみます)



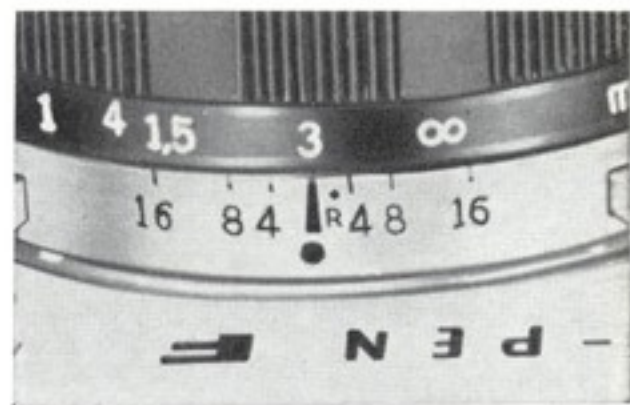
右側のボタンがプレビューボタンです。

ペン FT のレンズは完全自動絞りで、シャッターが開いている間だけセットした絞りに絞られ、あとは開放になっています。従ってファインダーは常に明るく、構図やピント調節が楽にできます。

一方、セットした絞りで、ピントの合う範囲を見たい場合があります。そんな場合はファインダーをのぞきながら、このプレビューボタンを押すとセットされた絞りまで絞られ、ピントの合う範囲や、バックのボケ具合を確認することができます。



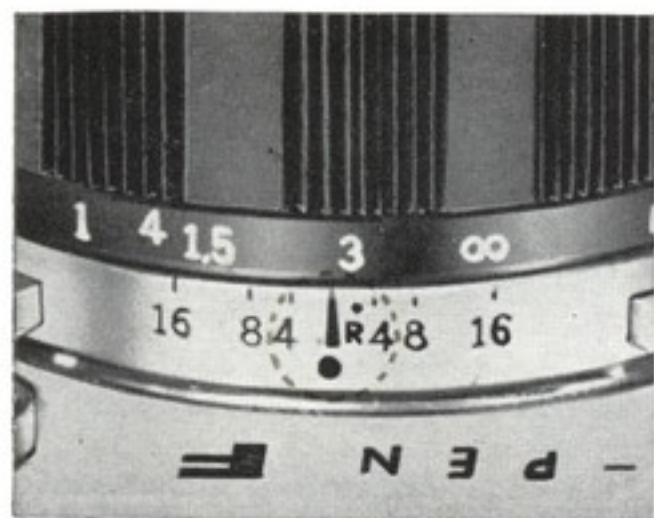
8 深度目盛



マウント環の▲赤指標の左右対称に、4, 8, 16の数字(Fナンバー)と線が刻まれています。これはピントの合う範囲を示した深度目盛です。

特にスナップ撮影の場合などには、これを利用すると便利です。例えば、3mの距離に合わせておいて、16に絞ってあったとしますと、ピントの合う範囲は1.4mから∞(無限遠)となり、いちいち距離を合わせなくても大丈夫です。

9 赤外線指標



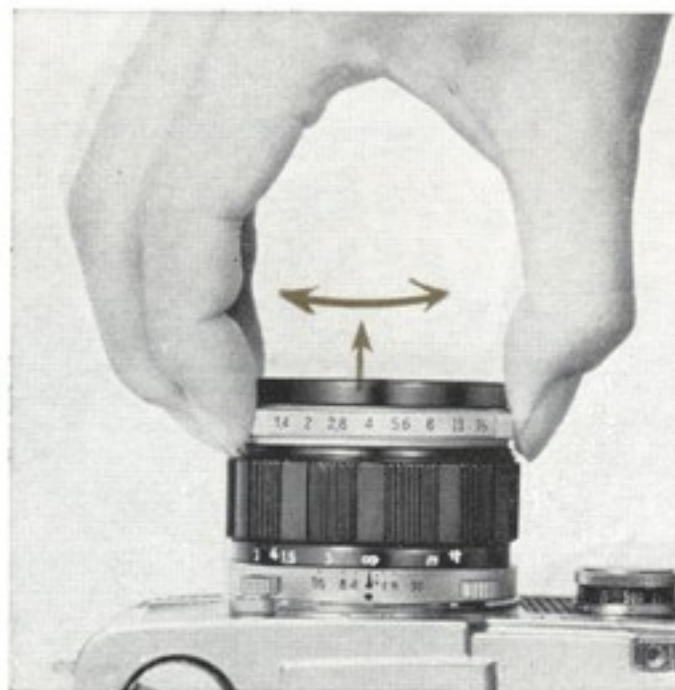
赤点(R)は赤外線指標です。赤外線フィルムを使用するときは、一度ピントを合わせてから、その距離目盛をRの指標までずらして撮影して下さい。赤外線フィルム撮影には、赤フィルターを使用します。

10 絞り環 (TTL ナンバーとF ナンバー)



レンズの先の白いリングが絞り環です。

上側に0から6までのTTLナンバー(17頁参照)と、下側に1.4または1.8から16までのFナンバー(絞り数値)が刻まれています。数字が大きくなればなるほど絞りが小さくなります。この絞り環を回して、必要な数値を中央の黒点に合わせて下さい。



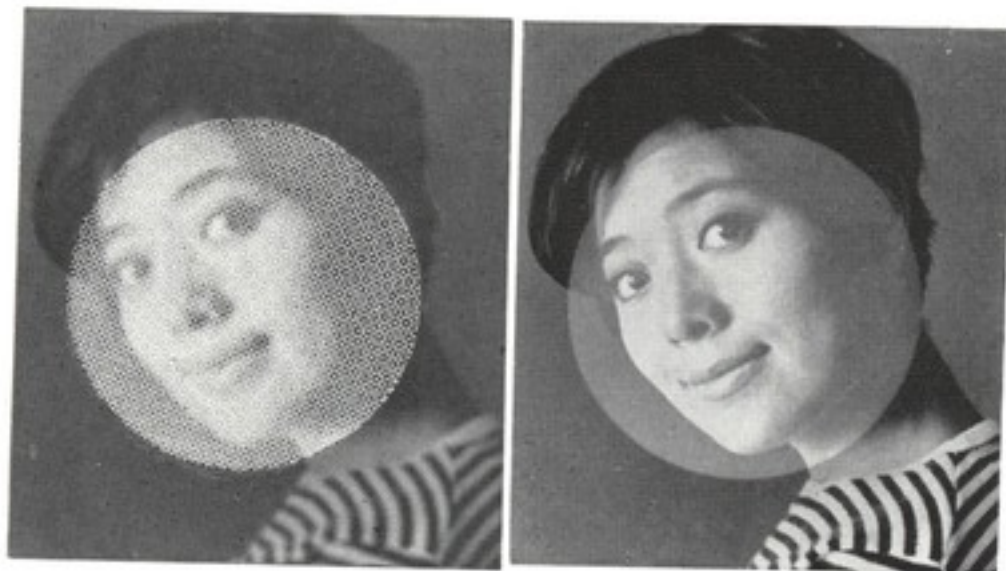
- TTL ナンバー (F ナンバー) は、シャッタースピードと違って中間の目盛が使えます。
- 絞り環を持って前に引出し、ぐるりと回すとFナンバーが上にセットできます。(フラッシュ撮影の場合に使います)
- 完全にセットされているかどうか必ず目盛の最両端でストップすることを確認して下さい。

11 距離環（ピントを合わせます）

FT

ファインダーをのぞきながら、距離環を右か左に回しますと、写そうとするものがはっきりしてきます。特に中央のマイクロプリズムの像が最も鮮鋭になったところでシャッターを切れば、ピントのいい写真が写せます。

※距離環には、メートル（白色）とフィート（オレンジ色）で距離が刻まれています。これは被写体までの距離を表わします。ペン FT は標準レンズのままで 35 cm まで接写できるのが特色です。

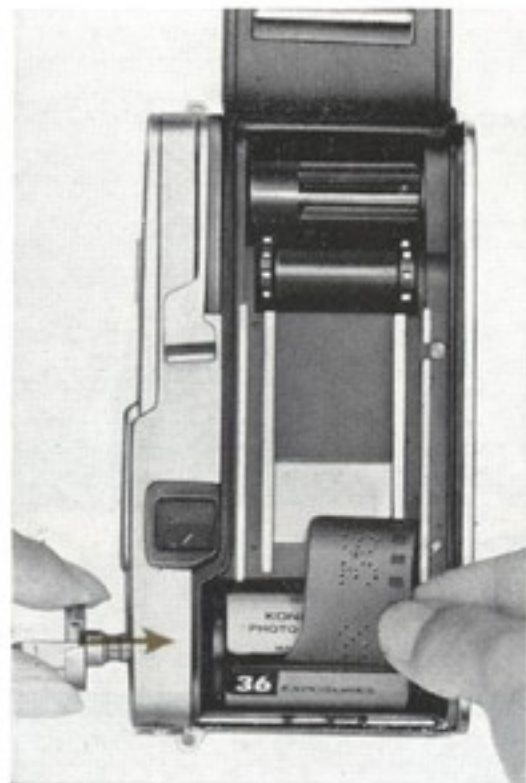


フィルムを入れましょう

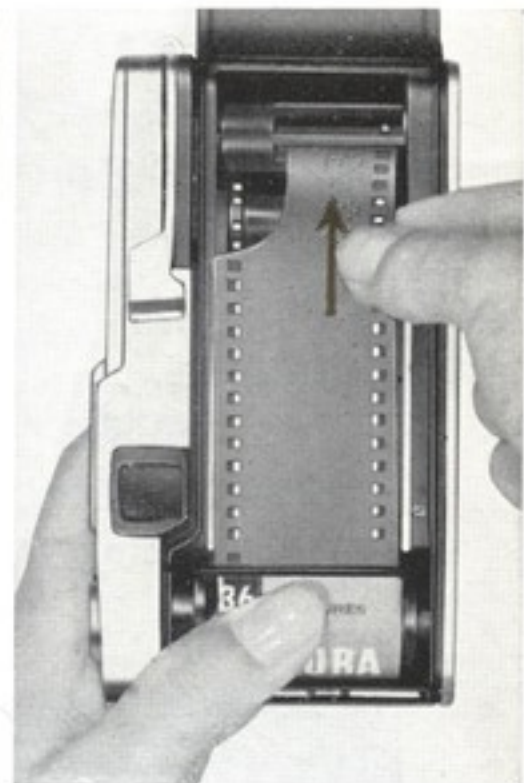
フィルムは20枚どりか36枚どりの一般の35ミリフィルムを使います。画面がペンサイズ（35ミリサイズの半分）ですので、フィルムが2倍に使えます。36枚どりのフィルムなら72枚、20枚どりなら40枚写せるわけです。特にカラースライドなどには大へん経済的です。



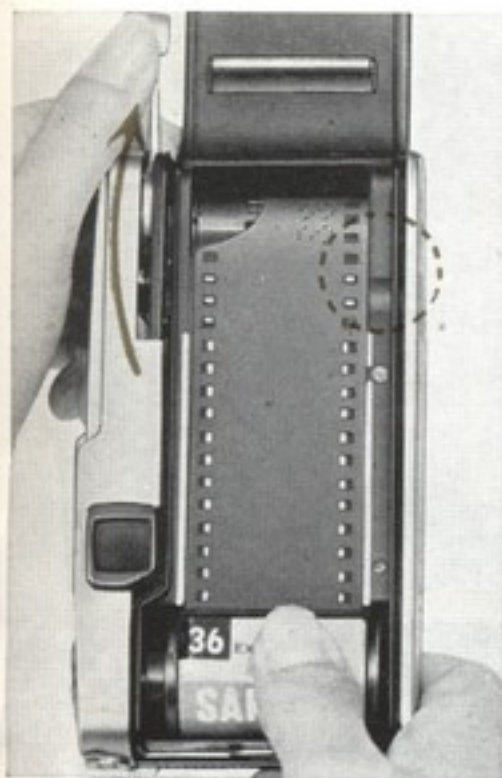
1 裏蓋を開きます。
(9頁参照)



2 フィルムをフィルム室に収めます。巻戻しノブが元の位置に戻らないときは、左右に少し回しながら押し込むと、楽にカチリと入ります。

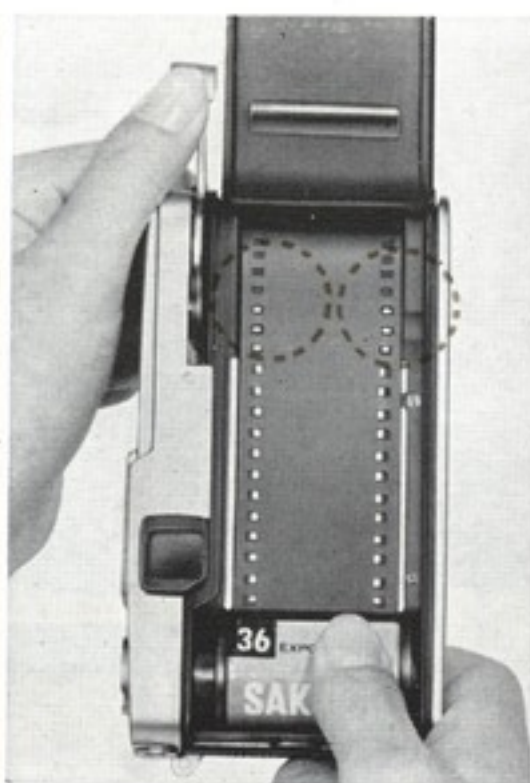


3 左手でパトローネを軽くおさえながら、右手でフィルムを持って少し引出し、その先端を巻取りスプールの溝に差し込みます。差し込みやすい溝のどれでも結構です。

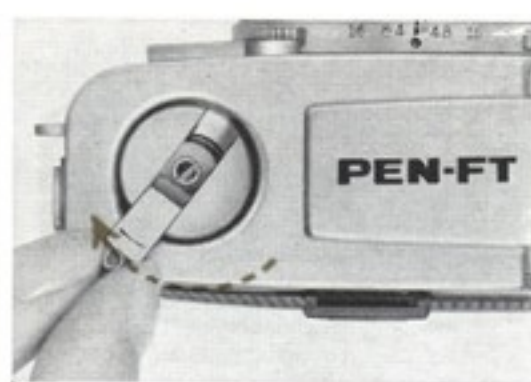


4 次に巻上レバーでフィルムを巻上げ、パーフォレーションがスプロケットの歯車にしっかりかかるようにします。

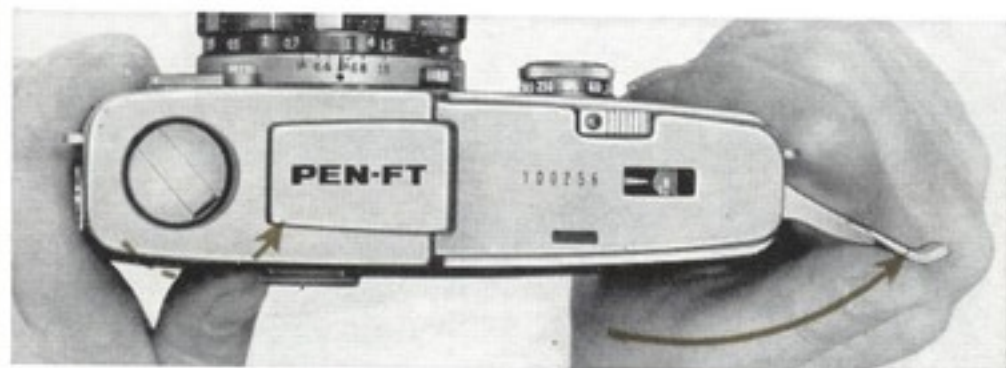
※ フィルムを巻込む際、フィルムの先端が巻取りスプールから突きだしても構いません。そのまま巻上げて下さい。



5 ここでシャッターを切り、更にフィルムを巻上げて、パーフォレーションが両側ともスプロケットの歯にかかるとようにします。

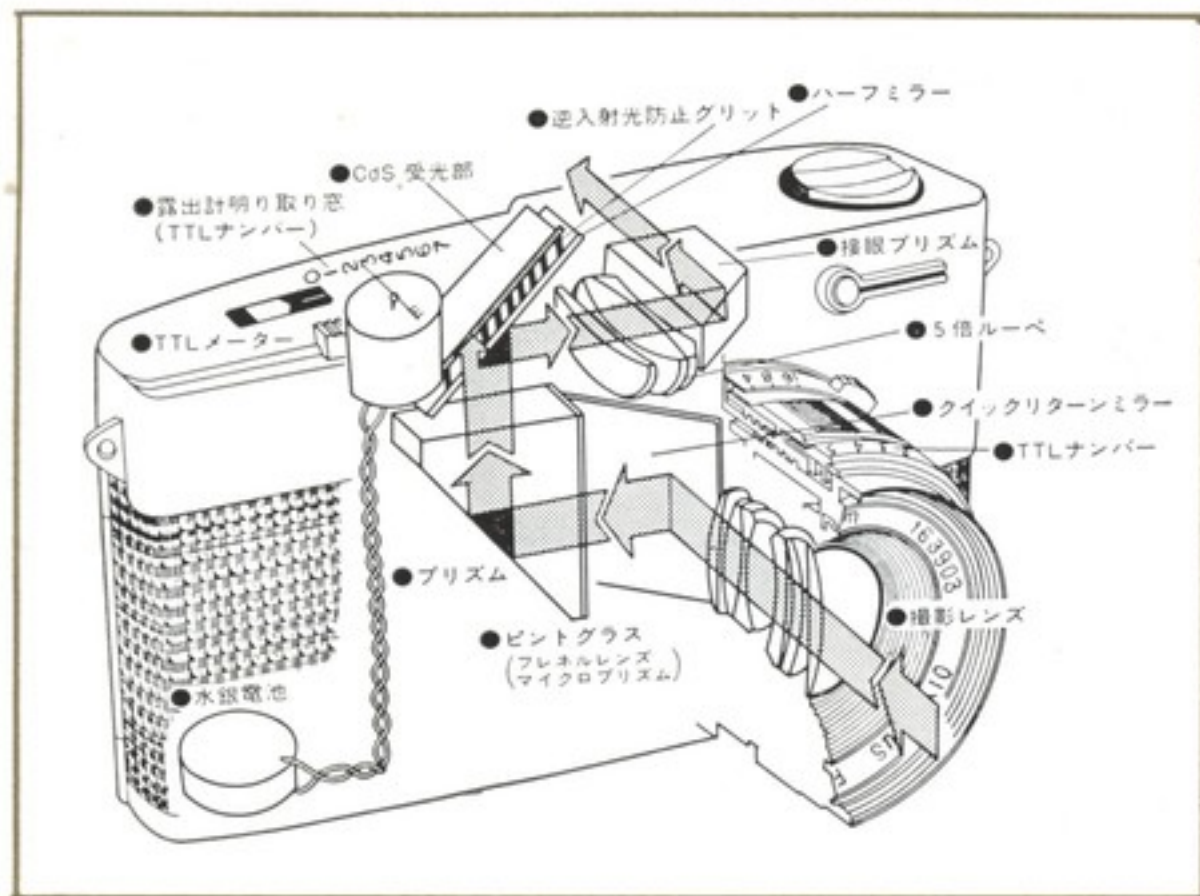


6 裏蓋を閉じます。ここで念のため、巻戻しクランクを起し、ノブが重く感じるまで軽く回して、フィルムのタルミをとります。



7 巻上レバーを巻上げてシャッターを切る——これを空写しといいますが、フィルム駒数計が1を指すまで繰り返します。ここから撮影に入ります。この空写しの途中で、巻戻しノブが巻上につれて回っていれば、フィルムは正しく送られています。

●ペンFTのTTL露出計構造図



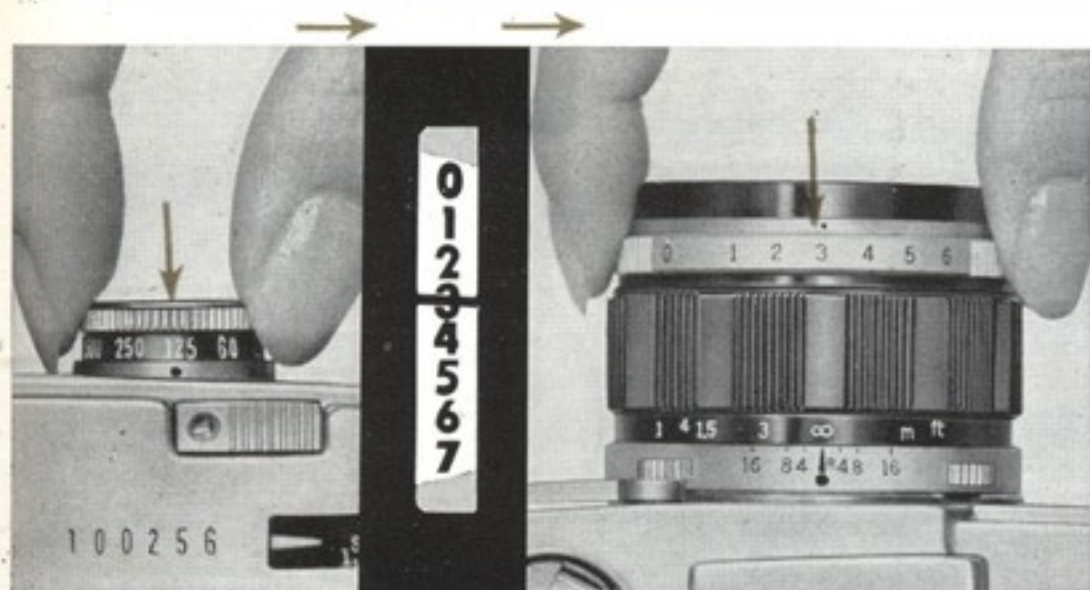
撮影レンズを通りフィルム面に達する光量を測る・TTL (Through The Lens) 方式には、開放測光と絞り込み測光の二つの方法があります。オリンパスペンFTは、同一レンズで“開放測光”と“絞り込み測光”の両方式ができ、しかもあらゆる測定誤差が完全に補正された世界で最も進歩した新しいTTL方式です。

ファインダーをのぞくと、左側に露出計指示窓が見えます。指示窓には0から7

までのナンバーが書いてあります。これがTTLナンバーで、正確な露出を決めるキメテです。

●露出計指示窓



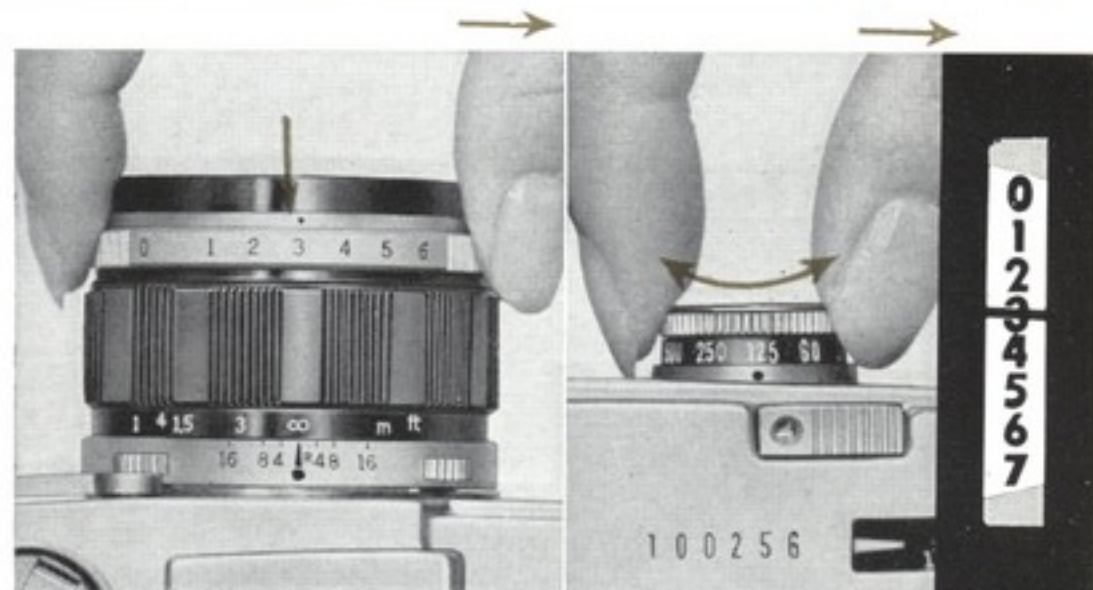


シャッタースピードを先に決める場合

1 まず被写体の条件によって適当なシャッタースピードを決めます。室内や暗い被写体は、1/30秒か1/60秒、屋外や明るい被写体は、1/125秒や1/250秒が適当でしょう。次に被写体をファインダーでのぞき、針の指している TTL ナンバーを読みとり、絞り環にセットすれば適正露出です。

※なおシャッタースピードを1/2秒ないし1秒にセットしたときは、赤い移動ゾーンがでます。

露出計指示窓の針が、上や下の赤いゾーンに入ってしまう場合や、絞り環にない TTL ナンバーを指している場合は、あらかじめセットしたシャッタースピードが不適当ですので、セットし直して下さい。



TTL ナンバーを先に決める場合

2 まず被写体の条件によって適当な TTL ナンバーを絞り環にセットします。(下側に F ナンバーがでますので参考にして下さい) 室内や暗い被写体は1か2、屋外や明るい被写体は4か5が適当でしょう。次に被写体をファインダーでのぞきながら、シャッターダイヤルを回転して、露出計指示窓の針があらかじめセットした TTL ナンバーを指すようにすれば適正露出です。

※シャッターダイヤルを左に回わして止まったときは、B (バルブ露出) ですのでご注意ください。

(絞り込み測光)



プレビューボタンを押して絞ったままの状態ですら測光したい場合や、特殊撮影などの場合には、絞り込み測光で露出を決めます。

絞った状態のままファインダーをのぞきながら、露出計指示窓の指針が、絞り環に表示されている TTL ナンバーの最小値になるように、シャッターダイヤルまたは絞り環を回して合わせてやれば、適正露出です。(標準レンズの場合なら、0に合わせます) ※なお、視度調節アダプター(逆入射光防止アイシェード)を必ずお使い下さい。

ペンF用 交換レンズの使いかた



TTL ナンバーの表示がないペンF用の交換レンズをお持ちの方は、同封の TTL ナンバーシールを写真のように絞り環に貼付けてお使い下さい。

オリンパスペンFの TTL システムについて詳しく知りたい方には、解説書を用意しました。郵便切手50円同封の上、下記宛にお申込み下さい。

東京都千代田区神田小川町3の7
オリンパス光学工業株式会社 FT 係

美しい写真を撮るには、カメラをしっかり構えなければなりません。ピントの悪い写真の多くは、カメラブレが原因です。カメラに慣れるまで何回も練習してみてください。

レリーズボタンは、指を立てずに、指の腹で静かに押します。

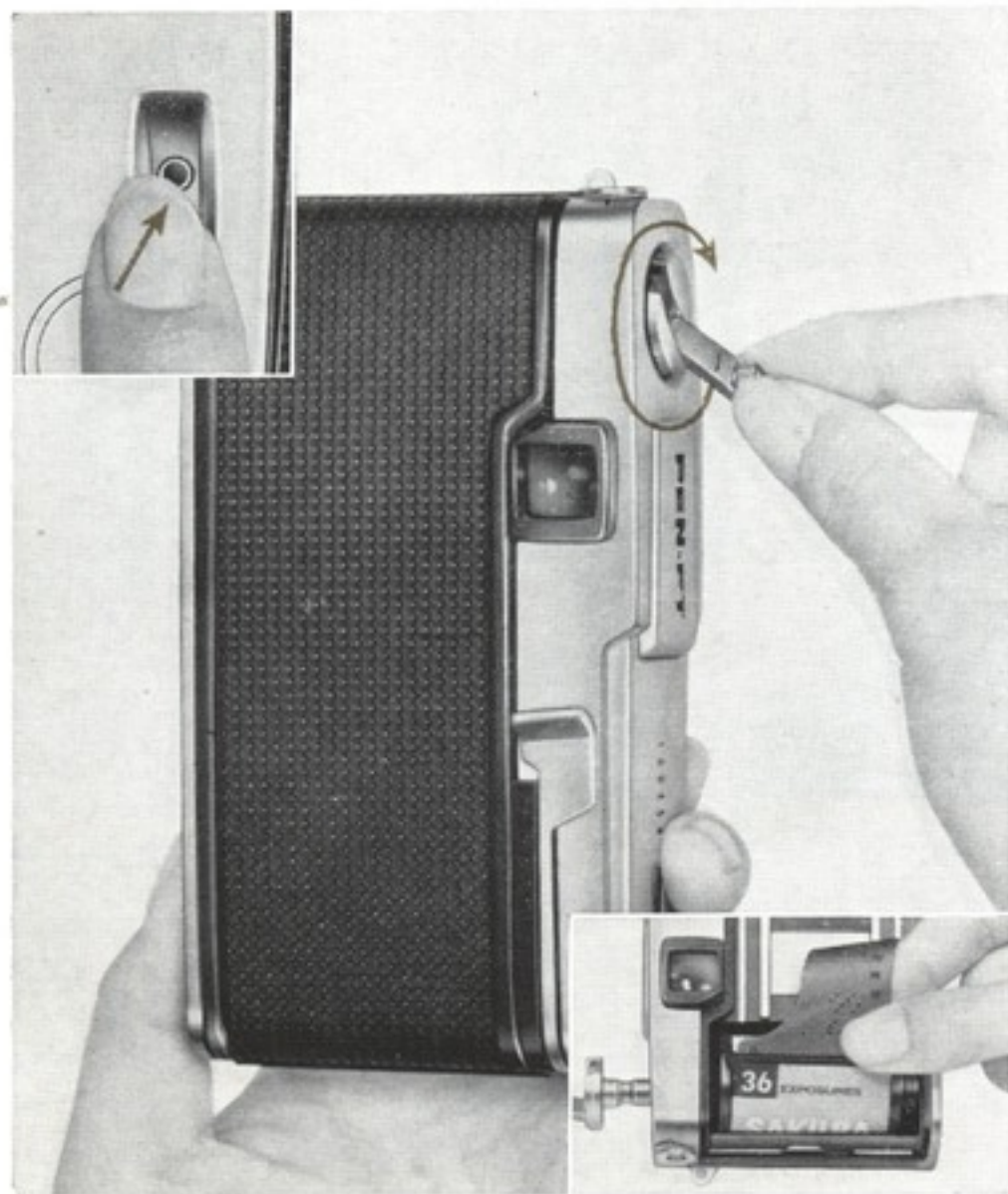
構えかたは、構図によってタテ位置でも、ヨコ位置でも自由です。



- ヨコ位置にカメラを構えるときは、両腕をカラダにしっかりつけて下さい。



- タテ位置にカメラを構えるときは、右腕をカラダにしっかりつけて、左手でカメラが動かないように保持します。

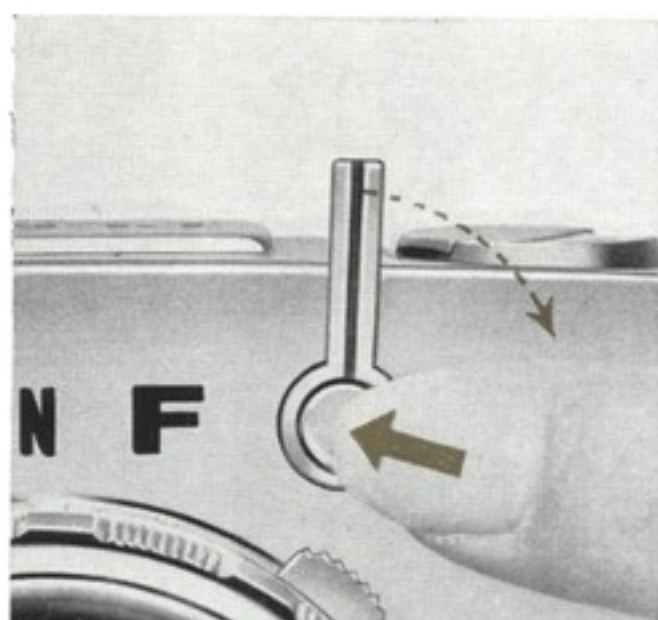
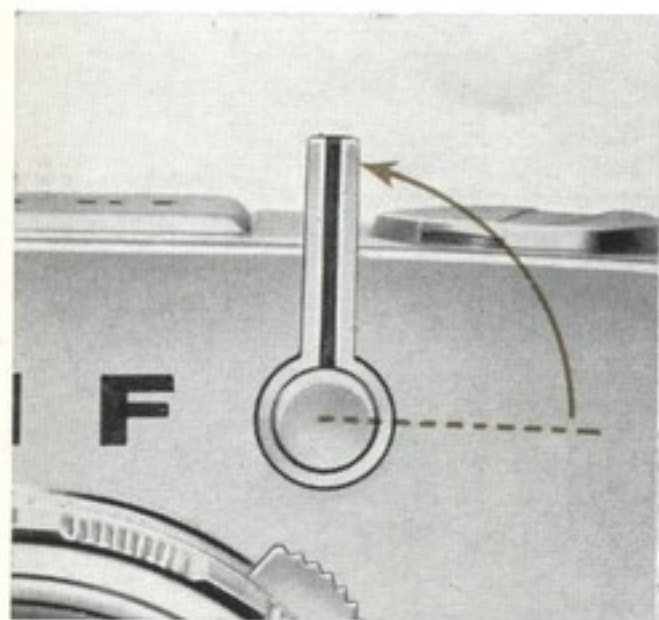


撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。撮影が終わったかどうかは、フィルム駒数計が40（20枚どりフィルム）または72（36枚どりフィルム）になったことでわかります。

フィルムの巻戻しは、まずカメラ底部の巻戻しボタンを押込みます。次に巻戻しクランクを起し、クランクの矢印の方向に回して下さい。フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻取られ、スプールからフィルムの先端が外れると急に軽くなります。

こうして巻戻したら、直射日光の当たらないところで、フィルムを取出して下さい。

フィルムが終りになって、巻上レバーの途中で動かなくなることがありますが、そんな場合も、レンズにキャップをかぶせ、そのまま同じような方法で巻戻して下さい。

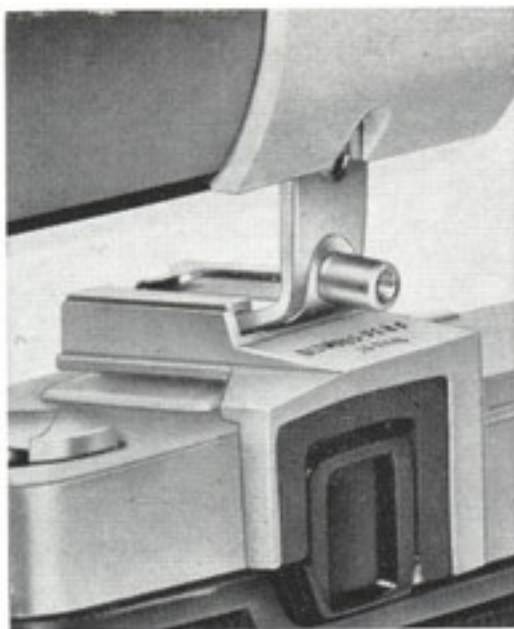


他人の手を借りずにご自分の記念撮影ができる便利なセルフタイマーが内蔵されています。楽しい思い出をたくさん作って下さい。

1. セルフタイマーレバーを、上に90°回すと、セットされます。
2. フィルムが確実に巻上げであるかどうか確認します。
3. レバー中央のスタートボタンを押すと、約11秒してからシャッターが切れます。

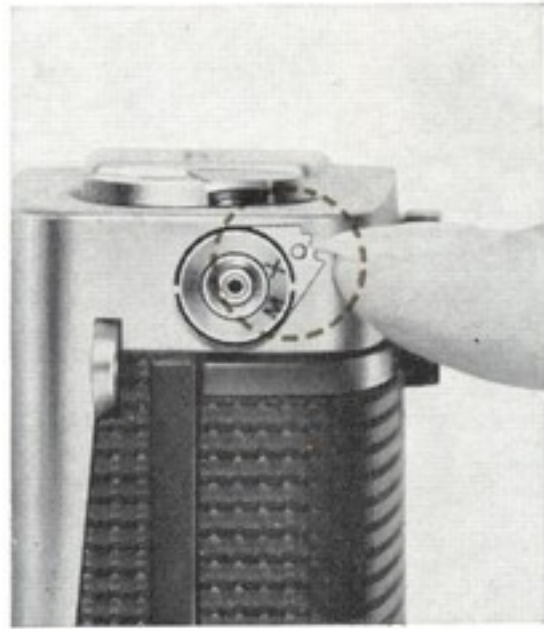
- セルフタイマーレバーのセットは、フィルム巻上の前後どちらでも構いません。
- セルフタイマーをセットしたあとでも、リリースボタンを押せば、セルフタイマーを作動させずに、写すことができます。
- フィルムが確実に巻上げられていないとセルフタイマーを作動させても、シャッターは切れません。
- 上記のようになった場合は、もう一度セルフタイマーレバーを上90°回して、指で押さえたままフィルムを確実に巻上げます。このときはスタートボタンを押さなくても、指を放せばスタートします。

ペン FT は、一般の一眼レフと異り M 級バルブおよびストロボが $1/500$ 秒までのすべてのシャッタースピードに完全同調するという大きな特色があります。夜間にはもちろん、日中フラッシュ撮影にも十分な効果を発揮します。



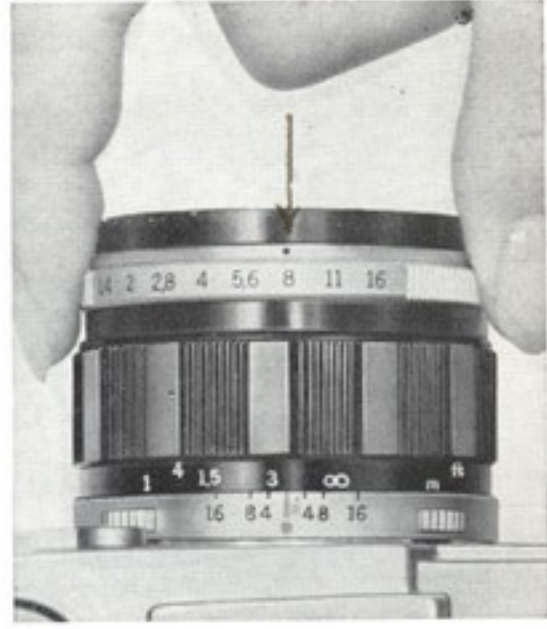
1 フラッシュガンを取付けます。

ファインダー接眼部の両側面に溝がほってあります。ここに専用アクセサリシューを差込み、その上にフラッシュガンを取付けて下さい。



2 シンクロ接点を決めます。

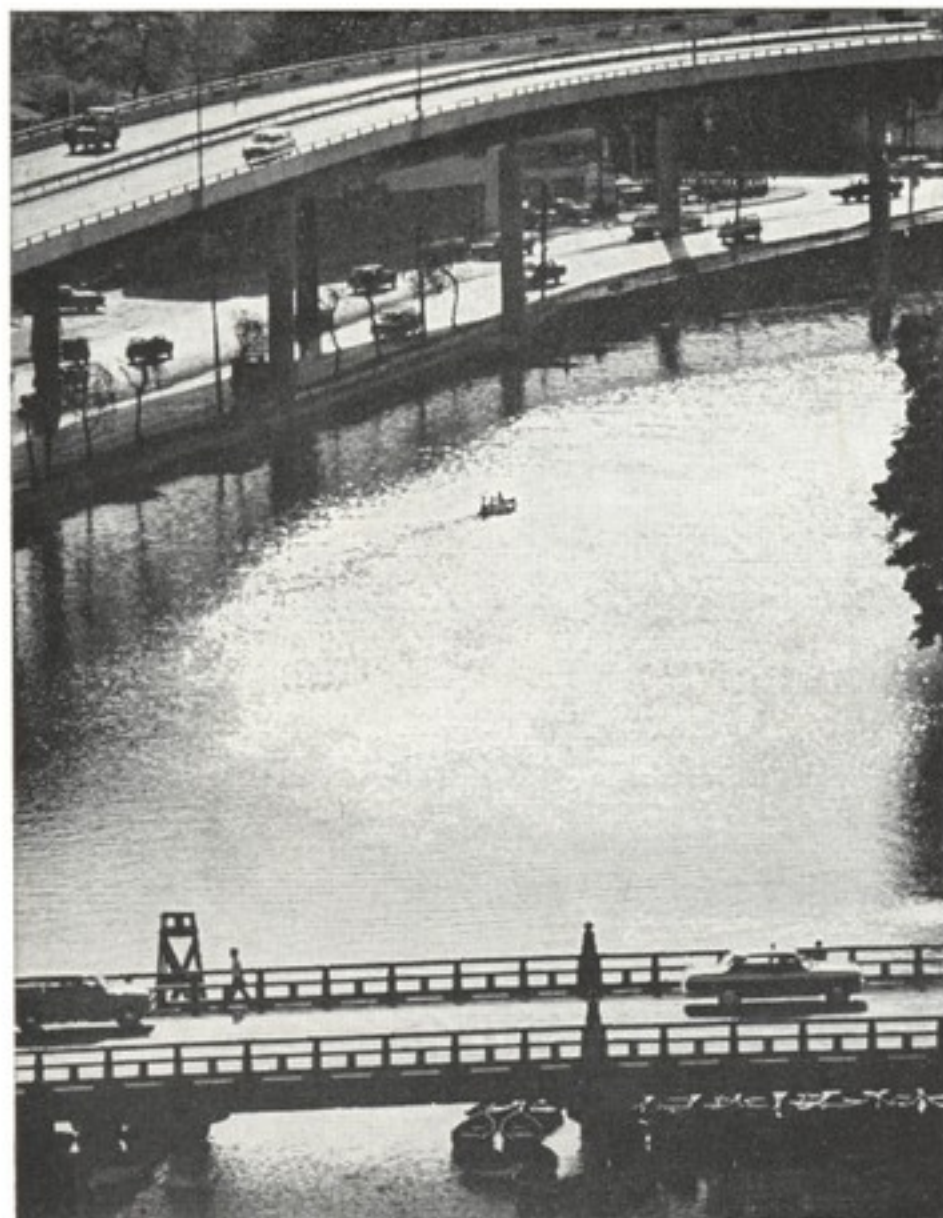
接点切替レバーを爪で動かし、レバーの赤丸を M 級バルブを使用するときは M (接点)、ストロボは X (接点) に合わせます。それからフラッシュの接続プラグをカメラのシンクロソケットに差込んで下さい。



3 F ナンバーを決めます。

フラッシュに指定されたガイドナンバーを、被写体までの距離で割ってその数値の F ナンバーを使って下さい。例えばフィルム感度 (ASA) 100 のガイドナンバー 4、距離 5 m なら、 $40 \div 5 = 8$ ですから F ナンバーを 8 に合わせます。

- テレビやラジオの近くとか鉄製の容器の中などに長く置かないようにして下さい。
- レンズを取外したとき、ミラーに手をふれて指紋などをつけないで下さい。
- シャッター幕は、極めて薄い金属製ですから、指でつついたりするのはやめて下さい。写さないで長い間保管するような場合には、シャッターは必ず切っておきましょう。
- カメラにはホコリと湿気が大敵です。長く保管するときは、ケースから出し、できるだけ乾燥した空気の流通のよいところにしまってください。
- レンズに指紋をつけないこと。もしついたらすぐ清潔なシリコンクロスでふいて下さい。そのままにしておくと、とれなくなります。
- シャッターとか、巻上レバーなどの動く部分を分解したり、注油したりすることはやめましょう。具合が悪い場合は、すぐオリンパスのサービス・ステーションにお持ち下さい。



交換レンズの魅力

レンズ交換カメラは性質の異なるいろいろな交換レンズを駆使してこそ、はじめて本来の機能が発揮できます。

コンパクトでシャープな望遠，ダイナミックな描写のワイド，特に写す範囲，好きな構図が勞せずして自由に選べるズームレンズの魅力は絶対です。その他の交換レンズも続々と登場する予定です。

各種レンズの大きさは35ミリのそれに比べ半分以下，重量は $\frac{1}{3}$ 以下で携帯性に富んでいます。



望遠100ミリ使用

● オリンパスペンFTの優れた眼



● オリンパスペンFT用交換レンズ一覧表

交換レンズ		35ミリ判換算	画角	TTLナンバー	最短撮影距離	フィルター径	重量	価格
標準FズイコーオートS	F1.8f=38mm	f ≒ 55mm	43°	0~6	35cm	43mm	135gr	¥10,900 (ケース・フード付)
標準GズイコーオートS	F1.4f=40mm	f ≒ 58mm	41°	0~6	35cm	43mm	165gr	¥16,800 (ケース・フード付)
広角EズイコーオートW	F4f=25mm	f ≒ 35mm	62°	0~4	25cm	43mm	120gr	¥13,300 (ケース付)
望遠GズイコーオートT	F1.5f=60mm	f ≒ 85mm	28°	0~6	0.8m	49mm	270gr	¥21,800 (ケース・フード付)
望遠FズイコーオートT	F2f=70mm	f ≒ 100mm	24°	0.5~7	0.8m	43mm	230gr	¥18,000 (ケース・フード付)
望遠EズイコーオートT	F3.5f=100mm	f ≒ 143mm	17°	1~6	1.5m	43mm	250gr	¥18,000 (ケース・フード付)
望遠EズイコーオートT	F4f=150mm	f ≒ 210mm	12°	1~5	1.7m	49mm	380gr	¥23,500 (ケース付・フード組込み)
ズイコーオートズーム	F3.5f=50~90mm	f ≒ 70~130mm	34°~19°	0.5~4	1.5m	49mm	420gr	¥30,000 (ケース・フード付)
ズイコーズーム	F5f=100~200mm	f ≒ 143~286mm	17°~9°	1~6	1.7m	49mm	700gr	¥39,200 (ケース付・フード組込み)
超望遠ズイコーミラーT	F8f=800mm	f ≒ 1,150mm	2°	(0)	15m	25.5mm	2kg	¥145,000 (ケース・フード・フィルター付)

アクセサリ一群

オリンパスペンFTの特色は、豊富な各種アクセサリを活用してこそ、はじめて発揮されます。“写す”楽しみもグーンと拡大されます。

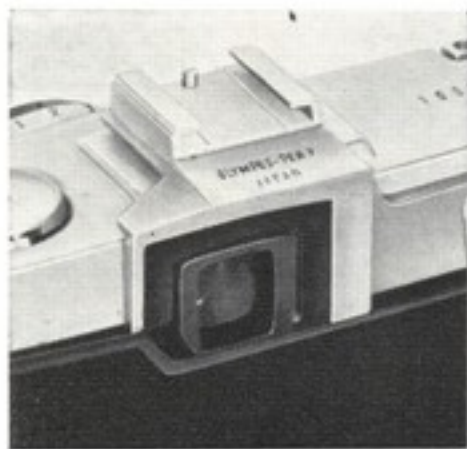


●フィルター

43mm	UV、Y2	¥	650
	1A(スカイライト)	¥	680
	81C(カラー・曇天用)	¥	680
	82C(カラー・朝夕用)	¥	680
45mm	かぶせ ND4X	¥	750
49mm	UV、Y2	¥	1,000
	1A、81C、82C	¥	1,100



●フード(標準レンズ用) ¥600



●アクセサリシュー2型 ¥450



●セットケース ¥2,800



●視度調整アダプター ¥500

接眼部からの逆入射光を完全に防止したいときはこれをお使い下さい。

●視度調整レンズ ¥200



- アタッチメントレンズ
(f=30cm 43mm) ¥1,300
(f=40cm 43mm) ¥1,300



- 中間リング2型 ¥2,500



- 中間リング ¥3,000



- ベローズ ¥5,000
- スライドコピア ¥4,000
- カメラスライダー ¥2,500



- ペンアップ3 ¥3,500



- 顕微鏡写真撮影用アダプター ¥3,000



- ペンスタンド ¥12,000
- ライトアーム ¥5,000



●マग्ニファイヤー ¥2,500



●アングルファインダー ¥4,000



●アングルマग्ニファイヤー ¥5,000
(アイシェード ¥40)



●マウントアダプター P ¥3,000
(ブラクチカマウントレンズ用)

●マウントアダプター E ¥3,000
(エキザクタマウントレンズ用)

●マウントアダプター L ¥3,000
(ライカマウントレンズ用)

●マウントアダプター N ¥3,000
(ニコンマウントレンズ用)

- ペンスライドプロジェクター2型 ¥5,000
- プロジェクター用クーラー ¥1,900
- オートチェンジャー2型 ¥1,600
- フィルムストリップアダプター ¥1,200
- ペンスライドマウント(40枚入り) ¥160



- 1 豪華で美しいオリンパスフォトグラフィをさしあげます
- 2 月例写真を募集，一流写真家によって選評します
- 3 あなたの写真作品をフォトグラフィ誌上に掲載します
- 4 不定期に盛大なオリンパスコンテストをおこないます。
- 5 作品の通信指導をいたします
- 6 定期購読記念にペンの当る抽選券をさしあげます。

OLYMPUS PHOTOGRAPHY

はこんな雑誌です



美しいカラー写真による表紙

- カメラ雑誌にみられない特色
- スマートな編集と豊富な内容
 - *すぐ役立つ平易な技術指導記事
 - *皆さんの参加のできる独自の企画ページ



傑作を集めたグラビヤ



すぐに役立つ
技術解説



皆さんの作品



月例ページ

- ▶新製品紹介、解説記事
- ▶楽しいたより欄など
- ▶B5判 36ページ

申込手続きは簡単です

同封のフリカエに必要事項をお書きください

フリカエで購読料をお払いこみください

購読料1年分12冊900円 申込金100円計1,000円

*オリンパスペンの当る抽選券をさしあげます

*美しいバッジと会員証をさしあげます

東京都千代田区神田小川町3-7

TEL 294-4411(代)

オリンパスカメラクラブ事務局

振替口座 東京23793

ズイコーニュース編集室

振替口座 東京18574

海外にお出かけの方に

万一旅行の途中で、カメラに事故が発生した場合は、各国にサービスステーションがありますからお尋ね下さい。リストは、東京営業所にご請求いただければ、お送りいたします。

オリンパス光学工業株式会社

国内オリンパス・サービス・ステーション所在地

東京	東京都千代田区神田小川町3の7	オリンパス光学工業(株)東京営業所	電話(294)4411
名古屋	名古屋市中区栄3の4の24	オリンパス商事(株)名古屋支店内	電話(251)4361
大阪	大阪市南区安堂寺橋通り2の32	オリンパス商事(株)大阪支店内	電話(261)6071
九州	福岡市天神1の14の1 日本生命ビル	オリンパス商事(株)福岡支店内	電話(76)4466
北海道	札幌市北3条西4丁目 日本生命ビル	オリンパス商事(株)札幌営業所内	電話(25)3324
広島	広島市中町7の32 日本生命ビル	オリンパス商事(株)広島営業所内	電話(47)5782
仙台	仙台市名掛丁91 駅前第1ビル	オリンパス商事(株)仙台営業所内	電話(25)6821
北陸	金沢市香林坊2の4の30 五輪ビル	オリンパス商事(株)金沢営業所内	電話(62)8257
横浜	横浜市神奈川区沢渡16 高島台第2ビル	オリンパス商事(株)横浜営業所内	電話(31)2041
新潟	新潟市東大通り1の23 マルタケビル	オリンパス商事(株)新潟出張所内	電話(44)4441
静岡	静岡市追手町1の6 日本生命ビル	オリンパス商事(株)静岡出張所内	電話(55)5630

海外オリンパス・サービス・ステーション所在地

U. S. A.	OLYMPUS CORP. OF AMERICA	257 Park Ave. South. New York. N. Y. 10010
GERMANY	OLYMPUS OPTICAL CO. (EUROPA) GmbH	Steindamm 105. 2 Hamburg 1

貴方のカメラナンバーを控えておきましょう。

No. _____